

一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース



編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

自分を表現する作品作り
真剣に取り組みます(かもめ園知的)



目次

- (1) らうんじ
- (2) ~ (3) 夏の思い出
- (4) 自衛消防訓練での健闘・私達の風景
- (5) ボランティア紹介・大井三丁目高齢者憩いの場紹介
- (6) 豆知識・法人祭り案内・しなふくの窓

薄紙を丸めて、装飾のパーツ作り
手、指先の運動にもばっちり！



大切に1本1本活けてます
(生花サークルで)



らうんじ

私たちの仕事も、今いくつかの大事な課題に直面しています。すぐに華麗なシュートを決めることは難しいでしょう。でも利用者の支援をしっかりと行ない、誰もが仕事を進めやすいよう、確実なパスを送るよう努めます。その積み重ねが大きな成果につながると信じています。

施設長 長野美行

日本代表コーチで、それまで世界レベルには程遠かった日本サッカーをオリンピックでベスト八という快挙に導きました。十一人のサッカー選手は、それぞれのポジションで役割を分担しながら、確実にボールをパスして、シュートする選手に受け渡します。シュートを打つのはたった一人の選手でも、そこまでの一人ひとりのパスが大切であることは、選手みんなが知っています。

Jリーグ(サッカー)が好きで、プロ選手のドリブルや豪快なシュートにいつも魅了されます。「サッカーは思いやりだよ。パスを受ける人の立場になって、受けやすいボールを出すことから始まるんだよ」と、デットマール・クラマーの言葉。クラマーは東京オリンピック(一九六四年開催)の



「輪投げゲーム」よく見てねらって、もらうぞおもちゃ!!

夏の思い出 二〇一八 ドーナツ祭り 八潮中央保育園

八潮中央保育園では、毎年七月にドーナツ祭りを開催します。

今年七月七日に「ドーナツのように皆で輪になって集おう」という趣旨のもと、園児、保護者、卒園生や地域の方々と交流をしながら夏祭り

を楽しみました。

園庭に並ぶ模擬店や催しは、ヨーヨーつり、輪投げ、宝探し、お面やマイバッグ製作、バルーンアートによるステーションなど、すべて子ども達に楽しめるもの。夏祭りは数あれど、すべて子ども達のためのお祭りであることが、保育園ならではのものと自負しています。

お祭りのメインである盆踊りでは、子ども達が円になり、アンパンマン音頭を踊ります。浴衣や甚平に身を包んだ子ども達が一生懸命踊る姿は、なんとも可愛らしく、保護者も職員も思わず目を細める光景も、毎年の夏の風物詩の一つだと思えます。

また、前年は大勢の人に圧倒されて盆踊りに参加できなかった子どもから「今年は参加できました!」という報告を聞けることもあり、すくすくと成長する子ども達の姿を感じられることが何より嬉しい一日となりました。

夏の思い出 「かもめ園の夏」 かもめ園(知的)

夏の思い出といえば、「かもめ園の納涼祭」が、毎年真っ先に思い浮かびます。

園庭で盆踊りを踊って楽しまれていた昔と同じことは出来なくなりましたが、近年の納涼祭はひと工夫し、ご家族と一緒に食べる流しそうめん、夜に行われる花火大会は、納涼祭の定番として利用者の皆さんに楽しんで頂くことが出来ました。

そして今年は納涼祭だけでなく、新しく始めた全員参加型の活動が大いに盛り上がりを見せていました。



皆の手作り神輿!
わっしょい、
わっしょい!!



初夏のスイカ割り大会
よ〜くねらって〜!!

猛暑が連日続いて暑い日が長引くようになり、利用者の方に納涼祭よりも一足先に夏を楽しんで頂くとうと、野外ならではのスイカ割り、バーベキュー大会、お祭り気分でお神輿を担ごう!などの催しが開催されました。どれも担当職員の工夫が光り、利用者の方に大変好評でした。特にスイカ割りでは普段見たことのないような力が発揮され、大きなスイカを見事に割る利用者もいらつしやっつと盛盛り上がりしました。

今年去年より、さらにたくさんの方の利用者の皆さんの笑顔を見ることが出来る夏となりました。

夏の思い出

「流しそうめん大会」 中延在宅サービスセンター

今年の夏は、関西地方の集中豪雨による大きな災害からのスタートとなりました。



「そうめん、とれるかしら」

東京もいきなりワイパーも効かないのような雨に見舞われることが多い、サービスセンターの送迎時の運転も一時は前が見えない時もあり、

天候や季節が変化したと実感する日々です。

七月二十一日(土)に、中延サービスセンターでは流しそうめん大会を実施しました。本来は、七夕の竹を使用して本格的に実施する予定でしたが、切った竹が反り返り、一本の竹に戻ってしまうハプニングもあり、急遽雨どいを使用した流しそうめんになりました。昼食後ということもあり、最初は「お腹いっぱいよ」などの声も聞かれましたが、流す準備が整うと皆さんやる気満々。箸を持って待ち構えたり、応援団になる方やネギを切る担当になる方などそれぞれ役目を持ち準備も手伝っていたいただきました。

そうめんだけではなく、お菓子を流したりミニトマトを流したりして「アートマトだ!」と賑やかなひと時になりました。中には人生初の流しそうめんを体験する職員もいて、利用者や職員で楽しい夏の思い出となりました。

夏の思い出

「こどものつどい」で地域交流 地域福祉課

地域の子供達と、施設の利用者が、同じ時間を共有し、思いやりや優しさを育む機会として、去る八月四日(土)

今年も本部ロビーで開催し、約百三十名の方々でにぎわいました。



「あら〜かわいい!!」

工作 手品やお楽しみメニューは十三種類。身近にあるエコな材料で、工作や手品を楽しみました。射的、ポップコーンやアイスキャンディ、綿あめも世代を超えて人気でした。工作の指導は「品川遊びの会」の大上尚之先生、ボランティアにはプルデンシャル生

命保険株式会社 第一支社として 役立ち隊の皆様



「暑いけど、ヨーヨー釣りも楽しい〜!」

さん総勢三十二名が来てくださいました。

つどいは、ボランティアさんの大きな力で、大いに盛り上がり、子どもとその親御さん、施設の高齢者、障害をお持ちの方とが交流しながら、楽しい夏の一日を過ごしました。

次世代を担う子ども達が、素敵な大人達に囲まれ、さりげないふれあいの中から何かを感じてくれる機会となり、大変意義のある日となりました。



「パタパタ鳥、できた!」(指導上手なボラさんと)

今年度の品川総合福祉センターは「一消火栓女子部」に参加



自衛消防訓練、奮闘しました

日(金) 平成三十年七月六日(金) 大井ふ頭海浜公園・陸上競技場で、自衛消防技術発表会が行われました。この週は悪天候が続き当日の天気も心配でしたが、発表会の時には雨も落ち着き無事に行われました。

自衛消防訓練での奮闘 自衛消防技術発表会に 参加して...



しました。この部は女性三名が一つのチームとなり消火活動にあたります。さつき職員(指揮者)、八潮南職員(一番員)、八潮在宅サービスセンター職員(二番員)が今年チームです。普段は別々の事業所で、年齢もバラバラな職員がこの日は一つになって、「利用者の安全のために！」と精一杯行ってきました。事前訓練として、大井消防所八潮出張所で四回

の練習、その他、業務の落ち着いた夕方に自主練習を行います。本番に臨み、訓練成果が発揮されました。これから毎月の訓練の際に他の職員の模範となっていく



「利用者の安全のために！」
気持ちを一つにして
やり遂げました



手も動かしつつ、昔話に花を咲かせながら作成しています

「ゲーム」や「工作」といったプログラムの他に「書道」や「麻雀」といったサークル活動や「のんびり過ごす」もありです。利用される方が、好みや体調に合わせて自ら選択し、参加されています。月のプログラムは、担当職員がゲームのプログラムを計画します。過去に評判が良かった

私達の風景 八潮在宅サービスセンター

八潮在宅サービスセンターの午後のプログラムには「自由クラブ」という名称がついています。



人気の「坂道ごろごろ」ゲーム
皆さんのボールの行方に一喜一憂しています

たゲームから新しいゲームまで打ち合わせを行い、満足度が高まるように職員が試行していきます。新しいゲームは職員の手作りのものが多く、なかなかの力作が揃っており、新作のゲームの日は皆さん楽しんで参加されています。工作は、季節の風物詩的な装飾を中心に、出来上がったものはサービスセンターに飾り、利用者の皆さんや職員の間を楽しませてくれています。これからも職員一同、利用者の方々がより楽しんでいただけるようバラエティーに富んだプログラムを組んでいきたいと思えます。

ボランテニア紹介 本部 絵画サークル 伊藤喜代美先生



今回は本部の絵画サークルの講師を勤めてくださっているボランテニアさんをご紹介します。毎月一回、地域の方と、施



利用者がやりやすいように、工夫してくださっています

設のご利用者合同の絵画サークルが行われています。そこで講師を務めてくださっているのが伊藤喜代美先生です。絵を描くこと、創作に興味のある方が集まり、思い思いに作品を作っています。先生が用意をしてくださる題材で、デッサンをしたり、楽しい創作活動も毎回趣向を凝らして考えてきてくださいます。

時には、作った作品で遊んだり、様々な演出をしてくださり、利用者は毎回とても楽しみに参加されています。また、障害をお持ちの方には、その方の関節可動域や指の筆力を考えた道具を数種類ご用意くださったりと、利用者中心で活動しやすい環境を作ってくださいっています。

皆さんに沢山のお楽しみもいろいろあります。今後ともよろしくお願いたします。



伊藤先生の絵画サークル、いつも楽しみにしています。

大井三丁目高齢者憩いの場 園芸倶楽部をご紹介します

「土いじりでリフレッシュ」平成二十九年五月八日より園芸療法を用いた園芸倶楽部がスタートしました。



菜の花のお手入れに季節を感じながら

まずは畑作りから始まり、これからどんな野菜や花を植えるか、参加者の皆さんで決

めて行きます。昨年の挑戦はスイカやミニトマト、インゲン、大根等、種まきし成長を喜び、収穫し食べる楽しみも園芸倶楽部の人気のひとつです。

また、藍染めやクリスマス、お正月飾りなど季節に応じた作品作りも利用者の皆さんの楽しみとなっています。この指導をしていただい

いるのが、NPO法人日本園芸療法研修会の園芸療法士の皆さんです。毎週月曜日には、畑だけではなく植物の管理もしていただいています。

多世代交流の場、土曜日のひなたぼっこでは、目の前にできた野菜を初めて見た子ども達の「私達も、食べたい、やりたい」という声をよく聞きます。

また、参加者の皆さんの笑顔を引き出すだけでなく、通りすがりの親子連れが庭を覗き、母親が子どもに優しく話しかける姿がとても微笑ましく、植物や野菜など自然がもたらす力を感じます。



クワを持つ手も軽やかに

「柿が赤くなれば
医者も青くなる」

猛暑の夏を越え清々しい秋を迎える十月は、柿や葡萄・梨などの果物が豊富になります。

これらの秋の果物には豊富にビタミンCが含まれており、病気にかかりにくく健康に良いとされています。ゆえに「柿が赤くなると医者は青くなる」という「ことわざ」のように、青くなるほどではないのでしょうが、医者が手持ち無沙汰となると例えられています。

柿は、日本の果物の中で最も歴史が古く、弥生時代以降から存在していたと言われています。北海道と沖縄を除く全国で栽培されており、馴染みのある果物です。柿の品種は千種類以上あり、大きく甘柿と渋柿に分けられ

豆知識



ます。甘柿としては、富有柿・次郎柿・平核無柿など。渋柿としては、筆柿・市田柿などがあり干し柿として有名です（筆柿は一本の木に甘柿と渋柿が実るそうです）。柿の旬は、十月から十一月とされ、この時期、最も多くの種類の柿が店頭に並んでいますね。良い柿を選び、シャキシャキと食べる人。ゼリー状に完熟させて食べる人。それぞれに美味しい柿を食べて免疫力をアップさせてください（食べ過ぎると消化不良になるため食べる量にご注意を！）。

へ柿の上手な選び方

- ① へたがきれいで、果実に貼り付き果実との間に隙間がないもの。
- ② 皮に張りツヤがあるもの。
- ③ 全体が色づいているもの。
- ④ 持った時に重みがあるもの。どうぞお楽しみください。



「H29紅葉まつりのオープニング合唱」(参考写真)
楽しいこと盛り沢山
ぜひいらしてください！

しなふく紅葉フェスタ 開催のご案内

法人の地域交流行事がさらに盛大に生まれ変わります。楽しい一日を一緒に過ごしませんか？皆様是非おいでください。

開催時期…十月二十八日(日)
開催時間…午前十時半～午後二時半

場所…品川総合福祉センター
本部一階駐車場・ロビー
(品川区八潮五ー一)
内容…ステージイベント・模
擬店・作品展示・作品
販売・ユニバーサル体
験コーナー他

しなふくの窓

「しなふくの窓」とは、品川総合福祉センターから見える四季折々の様子や普段は目に留まらない施設の素

敵なものを、「窓」を通して写真で紹介していくコーナーです。



小さい秋、みつけた！

今回は、秋が深まるにつれ見事に色づいていく品川総合福祉センターの駐車場にあるもみじをご紹介します。十月に毎年開催していた紅葉まつりも今年からは紅葉フェスタと名前を変えて開催致します。皆様も紅葉フェスタにお越しの際は、紅葉を見て秋を感じていただけたいと思います。